

議員と語り合い 報告書

No.1

開催日	平成25年 2月 5日 18:00 ~ 19:30		
開催場所	福山小廻地区公民館	参加人数	8人
出席議員 (3班)	今吉 歳晴、木野田 恵美子、池田 綱雄、宮本 明彦、植山 利博、 有村 隆志、中村 正人		
役割分担	班長 (池田 綱雄)	副班長 (宮本 明彦)	
	記録係 (中村 正人)		
意見交換会での 主な意見等	<p>(凡例 ◆: 市民の方々からの意見 ⇒: 議員の回答)</p> <p>◆一般廃棄物や焼却場など市のお荷物になるようなものは福山から造って、若尊鼻(錦江湾国立公園)は、脇元から半分の国分側は遊歩道が出来たが、福山側は出来ていない。パークゴルフ場も含めて福山といえば牧之原のほうに重点傾向にある。もう少し下場に策を講じていただきたい。</p> <p>⇒廃棄物の処分場とか迷惑的なものばかり福山にと、そう思う。この遊歩道については議員もほとんど見に行ったと思う。何の理由で福山には出来ないのか、その現場でも言ったが、魚雷発射場がどうこうというような話もあった。いずれ作らないといけないと思っている。</p> <p>⇒福山の水道は人の家を通っていたりしている。市はこれまで水道整備に約12億円かけてきているし、今後も10億円程度かかるだろうが、そういう事で迷惑施設もあるが、別なほうで一生懸命やっているというのは市も示していると思っている。</p> <p>⇒議会では行財政、議会改革に関する調査特別委員会で議論をし、今回、中間報告をした。委員長報告の中で、下場の市民サービスセンターの今後のあり方について、周辺施設の利活用も含め検討すべきであると、本会議の中で執行部に提言としている。特に福山については、農林、畜産、水産業の振興について体制を確保すべきであると触れている。議会としても下場が人口減や昔の活力がないから、地域活性化の支援をしていかなければならないという意識は、議員全員が共有しているところである。</p> <p>◆港は整備をされ芝がずっと植えてあるが、立木が1本も無いので影を作るような木を植えたりすることが必要ではないか。</p> <p>◆磯新堀は下から上がる時、雨降りは四駆でないとスリップをして登れない急カーブが4、5箇所ある。旧福山町時代は何回か改善してもらったが、改善をしていただきたい。</p> <p>⇒ちょっと拵げれば通れそうなどころがあるから、行政に言ったら用地交渉が難しいような話を聞いた。</p> <p>◆市の水道管が私のうちの山を通っていると言ったら、対応が「そんなことは何も書かれていません」と答えてきた。頭から売りませんということではない。誠意が全然見られない。</p> <p>⇒もっと誠意を示すように伝えておきたい。</p>		

議員と語り合い 報告書

【 2月 5日 3 班】

No 2

意見交換会での
主な意見等

(凡例 ◆：市民の方々からの意見 ⇒：議員の回答)

◆市役所のほうから、水源地を分けてくださいとみえた。前にいくらかは市のほうに両親が譲っている。「あなたが売ってくださらないと、2億円くらい使って敷根から水道の工事をしないとイケない。」まずお金から言われる。本当に腹がたった。また、前に売った所と、分けてくださいと言われた所に昔から市の水道管が通っている。

⇒そういうことを解消するために合併してから24年までに約12億円使って、この地域の水道水をきれいな水が全戸にわたるような取り組みをしている。25年、26年度も工事の予定をしている。民地に水道管が通っているのを解消するための取り組み等を始めているので、ぜひご理解をいただきたい。

◆市役所の別館は、まだ承認は得られてないのか。地域審議会の中で説明があった。今後、議会も承認されるんだろうというような認識も少しはあるが。

⇒誤解もあるので説明するが、庁舎増築をしたいとの事で、行財政、議会改革に関する調査特別委員会は時期尚早だという提案をした。そのことを受けて、12月議会には予算は出なかった。執行部は3月の当初予算に予算を出すつもりで、もう1回地域審議会で、そのことを説明された。ただ、議会の特別委員会では全会一致で、まだこれは時期尚早だという結論を出している。今回の3月議会でも予算の提案はない。ただ、どうしても全体的なスペースの不足があるので、出来るだけ近いうちに審議会の皆さんの意見や議会の意見を反映して、次の案を早い段階で出したいということになっている。

◆小廻地区の磯口班は住宅が10件くらいあるが、その内6件が空き家で、廃屋などの問題がある。昨年、市が空き家の調査をされた。それをどう活かすのか。崩れかけた廃屋もあり危険である。持ち主や、管理者が分からないと困る。個人の建物なので取り壊すことは恐らく法律上出来ないのだから、その辺の調整というのは市からの勧告とか、今後、この調査の中でいかせていただけるのか。

⇒今後の大きな課題だと思う。市のほうも2年位前から空き家の調査にかかっている。例えば、空き家で地域の方が困っている。本人も確認をした上で取り壊したいが経費がないというところには、最高30万を限度に市が補助金を出すような事業が、今始まった。今後、廃屋は不審者が入ったり、不審火が出るような様々なことが想定されるので、そういうことに対して取り組まなければならない課題だと市も認識している。

議員と語り合い 報告書

【 2 月 5 日 3 班】

No 3

意見交換会での 主な意見等

(凡例 ◆：市民の方々からの意見 ⇒：議員の回答)

◆竹が山から人家にせり出してきているが、これは小廻地区の問題だけではなく、市内どこにもある問題である。その辺を個人で対応できるのか心配である。昔は失業対策とかあったが、そういう仕事がない人の対策としていかせないか。

⇒議会としても一般質問などを通じて、問題の解決に向けて、市がどう取り組むのか一緒になって事業を進める。そういう政策を進める重要な時期だと思う。皆さんが抱えていらっしゃる問題をしっかりと受け止めて、今後の霧島市の行政の施策の中にかかしていきたいと思っている。共通の問題として認識させていただきたい。

◆市長は観光行政、特に世界遺産とかそういう面の自然保護とかいうことについて非常に熱心。それだけではないだろうが、旧福山町からみればちょっと偏っていると思う。現在、独居老人だが、福祉ネットワークづくりで近年、独居住宅には声掛けの運動が盛んに行われたが、これは自主的な活動ということで、公民館、地区主体でリードするかたちになっている。これを行政の立場でそういう指導とか、体制を作れないものか。民生委員とか、そういう人たちを更に活動の強化とかいうかたちで推進できないものかとお願ひしたい。直接、市の福祉行政の中でそういう体系を作ってもらえないか。

⇒二段階でいければいいのではないかと。ボランティアの人たちは、元気ですかと訪問をして、元気かどうか確かめる。ほかに緊急通報システム(サスケ)というのがある。福祉のほうにお願いされると取り付けてくれる。ベルを押すと、そこから息子さんとか近所の一番近い人を3人決めておいて、そこに通報がいくと、すぐにかけるという方法と、それからペンダントがあり、外に出るときはペンダントをいつも首に掛けていて、それを押すと通報してくれるというシステムもある。また、登録制度というのがある。前もって住所や名前と血液型やかかり付けの病院とか緊急連絡先など、データを市のほうに登録しておけば、その後の処理が早くできる。今、個人情報保護法があり、希望者だけを受け付けている。是非登録をされたほうがいいと思う。行政や民生委員の方に聞いていただいて申し込んでいただきたい。

◆福山小学校が特認校の指定を受けた。児童数が少なくなって存続は難しい。産業教育委員会に相談があったときは、福山の小学校に行ってみないかと勧誘していただきたい。木造校舎のきれいなホテルみたいな小学校である。今、中学校に1人は来ている。何とか1人でも2人でも。是非、市議会のほうからも応援をしていただきたい。→要望

議員と語り合い 報告書

【 2月 5日 3 班】

No.4

意見交換会での 主な意見等

(凡例 ◆：市民の方々からの意見 ⇒：議員の回答)

◆敷根清掃センターの9万トン残渣問題で4、5年やってきて、昨年の3月小廻地区公民館の総会で住民の了解を得られ、市と協定書を交わし、いろんな交付金を授受した。お金をもらったからもう黙れというのではなく、深く考えればこの9万トンの残渣は、いつ、5年後、10年後、20年後、50年後にどういう結果が出るか分からないので心配する。おまけに国立公園に錦江湾がなり、第二、第三の水俣問題と同じようなことが起きる可能性が十分あると考える。市当局もずっと検査をしていくという話を聞いており、協定書にも書いてある。あとは、緑地化して木を植えて浄化をしていくということも言われているが、市議会も今後ずっと末代まで50年後とまでは言わないが、やはり検査、審査をしていく、そういう約束をちゃんと行政のほうに頼んでいただきたい。そういう汚染の可能性が十分ありますから、そこら辺もしっかりご理解していただきたい。

⇒9万トンの残渣は今まで問題になったことである。当然、今後も今までどおり調査を続けていくと思うので、そういう意見があったということは承っておきたい。

◆地域まちづくり委員会を行政のほうから指導を受けて設置するよにということだが、自分たちの住んでいるところは自分たちで環境を良くしていく、道路の草払いをすとか、自助、共助、公助という言葉は非常に今叫ばれている。福山とか横川とか田舎のほうはそういうエネルギー、パワーがない。若い人がいないし、昔は議員さんに頼めばすぐ道路が出来たりしたが、今はそういう時代ではないし、住民の考えをまとめて出さないと、非常に簡単なようで難しい問題だと思う。そこもご理解いただき、ご指導をいただきたい。

⇒役所の職員が地元のサポーターとして配置してある。ただ、職員もどこまで、地域の人たちの思いとか意見を汲み上げられるかといえば、やはり限度があり難しい。いろんな地域の会合とか主だったところには顔を出して、書類の書き方のお手伝いとか、アドバイスをするような担当職員が充ててあるので、館長さんや役員の方々を通じてそういう職員をうまく活用していただいて、お互いが協力をしながら地域を輝かせるような努力をお願いしたい。議員も声を掛けていただければ努めてこういう機会を作って出て行き、皆さま方のご意見を聞かせていただいて、それをまた執行部と議論をしながら反映したかたちで地域づくりに頑張っていきたいと思うので、是非ご理解をいただきたい。

議員と語りかい 報告書

【 2月 5日 3 班】

No.5

<p>意見交換会での 主な意見等</p>	<p>(凡例 ◆：市民の方々からの意見 ⇒：議員の回答)</p> <p>◆今、地域まちづくりの部分については、市役所の職員には来ていただいている。その他に公民館としては単独でいろいろな、年に5、6回の行事をしている。個人の問題だろうが、市の職員がほとんどみえない。その辺りを議会のほうでも取り挙げていただければ職員も地域と協力をしようと参加者も増えるんじゃないかと思う。これは要望です。</p> <p>⇒市長も事あるごとにそういうことには積極的に参加をするように、一生懸命言っている。それはそのように伝える。</p> <p>⇒たまには議員に対しても案内をされれば、議員の方々も地域から呼ばれば、この地域にいなくても霧島市の議員ですから喜んで来られる議員もいると思う。</p>
--------------------------	---